愛知大学

履修モデル（文学部　心理学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、
履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	文学部・心理学科	対象入学年度	2025年度入学生
ディプロマ・ポリシー	文学部心理学科では、客観的な視点から人間や社会を眺め、深く理解して、その成果を自らの日常生活や社会生活において応用できる人材の育成を目指しています。 心理学科では、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に従い履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより、総計 124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位（学士（心理学））を授与します。「卒業論文」は必修で、自分でテーマを決め、実験・調査を行い、得られたデータの分析と解釈、先行文献との比較を通して、自分なりの結論を導き出します。「卒業論文」については、論文審査と口述試験を行うことで評価します。これらを通じて、以下の能力を身につけることを教育目標と定めます。 (1)心理学に関わる専門的知識を有し、必要に応じて運用できる能力 (2)研究に必要なデータを得るための方法を考え、必要なだけのデータを収集・分析する能力 (3)問題を発見し、テーマをみつける能力 (4)ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し表現する能力 (5)社会や文化についての素養をもち、多様性を理解しつつ、主体的に行動する能力 (6)他者とコミュニケーションし対話する能力		
カリキュラム・ポリシー	文学部心理学科では、心理学研究の知見に基づき、理論的かつ批判的にものごとを分析・思考する能力を有し、それぞれの職域において指導的な立場に立って、企画構想、問題解決の実践を行い、国際的教養と視野をもって「世界文化と平和」へ貢献しうる人材の育成をめざしています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1)コミュニケーション能力、情報処理能力、基本的な思考方法や総合的な判断能力を養成するため「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「スポーツ・健康」の分野による共通教養科目を設けます。 (2)1年次生の専門教育科目では、全員が履修する「文学部総合研究」により文学部の各専攻の学問の基礎に触れ、文学部全体の学問を見渡すことで心理学を専攻する学生としての広い視野を得ます。それに加えて心理学科の導入科目として「入門講義（心理学）」および「入門演習（心理学）」が必修となっています。また、人文社会学科各コースの「入門講義」(2科目選択可)および「入門演習」(1科目選択可)を学部選択必修科目として設け、関心のある文学部の他の専攻の学問領域に触れる機会が提供されています。 (3)2年次以降の主要な専門教育科目として、心理学を基礎から応用に至るまで体系的に学ぶための演習などの学科必修科目と講義などの学科選択科目を履修します。 (4)公認心理師取得希望の学生は、公認心理師の取得に必要な諸科目を履修することができます。		

履修モデル	心理学科　心理学専攻
養成する人材像	過去の知見や原理を踏まえて、他者及び自己の行動の原因を客観的に分析することで、行動の質を改善したり、助言できる人材の育成を目指します。具体的には、公務員（心理職）、企業人（人事・営業）、認定心理士、各種のカウンセラーなどを目標にしています。

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1ｾﾒｽﾀｰ	単位	第2ｾﾒｽﾀｰ	単位	第3ｾﾒｽﾀｰ	単位	第4ｾﾒｽﾀｰ	単位	第5ｾﾒｽﾀｰ	単位	第6ｾﾒｽﾀｰ	単位	第7ｾﾒｽﾀｰ	単位	第8ｾﾒｽﾀｰ	単位	
共通教養科目	外国語分野	Communicative English Ⅰ	1	Communicative English Ⅱ	1	Practical English Ⅰ	1	Practical English Ⅱ	1									8
		Reading Ⅰ	1	TOEIC	1	Reading Ⅱ	1	Reading Ⅲ	1									
		入門中国語Ⅰ	1	入門中国語Ⅱ	1	応用中国語Ⅰ	1	応用中国語Ⅱ	1									6
		基礎中国語Ⅰ	1	基礎中国語Ⅱ	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー・入門、情報リテラシー・応用、生物の科学、行動生態学、憲法学、経済学、宗教学、論理学　等 （数理・情報分野2単位、自然分野4単位、社会分野4単位、人文分野4単位の計14単位必修） （さらに、各分野及び総合全体の中から計14単位必修）																28
	スポーツ・健康分野			スポーツ・健康演習	2													2
専門教育科目	学部共通科目	文学部総合研究	2											卒業論文			8	14
		入門講義（心理学）	2	入門演習（心理学）	2													
	基幹科目			心理学概論	2	心理学実験Ⅰ	2	心理学実験Ⅱ	2									20
						心理的アセスメント	2	心理学統計法	2	心理学研究法	2							
						知覚・認知心理学	2	発達心理学	2									
						学習・言語心理学	2	健康・医療心理学	2									
						臨床心理学概論	2											
						社会・集団・家族心理学	2											
						比較心理学	2											
	演習科目									心理演習Ⅰ	2	心理演習Ⅱ	2	心理演習Ⅲ	2	心理演習Ⅳ	2	8
	展開科目					人体の構造と機能及び疾病（集中講義）	2			教育・学校心理学	2	神経・生理心理学	2	心理実習			2	16
								知的情報処理論	2	感情・人格心理学	2	心理学的支援法	2	公認心理師の職責	2			
										産業・組織心理学	2	福祉心理学	2	関係行政論	2			
										障害者・障害児心理学	2	司法・犯罪心理学	2					
										応用行動分析	2	精神疾患とその治療	2					
										認知科学	2	組織行動マネジメント	2					
	学部選択必修、基幹科目、展開科目、他学科科目から																	4
自由選択	共通教養科目・専門教育科目	共通教育科目、専門教育科目及び隣接・関連科目の中から、個々の興味・関心に応じて18単位以上																18
合　計			－		－		－		－		－		－		－		－	124

卒業要件（卒業必要単位：124単位）
1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野　必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語6単位、計2ヵ国語14単位
(2) 数理・情報分野2単位、自然、社会、人文分野各4単位計14単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位
(3) スポーツ・健康分野　2単位
2 専門教育科目は、次に定めるところにより合計62単位以上を修得しなければならない。
(1) 心理学専攻
イ　学部共通科目　14単位（卒業論文8単位を含む。）
ロ　基幹科目　20単位
ハ　演習科目　8単位
ニ　展開科目　16単位以上
ホ　学部選択必修
　基幹科目
　展開科目
　他学科科目
　の中から4単位以上
3 上記のほかに、共通教養科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。
4 その他授業科目の履修については、別に定める。